事例分類

業務内容の効率的な取り組み

■サマリー: ICT化は全てを解決しない、園の状況に合わせた柔軟な対応を!

課題

- ・職員間の連携
- ・仕事内容が多く残業が増加



目標

- ・職員間の連携をとることで、時短につなげる。
- ・効率よくパソコン を利用し残業を減ら す。



成果

- ・パート職員と連携がとれてきている。
- ・若手職員が楽しそうに保 育を行っている。
- ・ICT導入で時短に繋がっている。
- ・時間削減できるように今 後も継続し課題に取り組ん でいく。

1

課題の意図・詳細説明

- ・常勤職員の不足やパート職員との連携がうまくいかず、作業能率が上がらない。
- ・今年度より I C T 化、ノンコンタクトデーも取り入れているが、中々時短に繋がらない。

目標の意図

- ・若手職員やパート職員にも作業・製作物の依頼を行い、時間削減と資質向上を図る。
- ・事務の効率化で負担軽減を図り、残業を削減できる。

具体的な取り組み 12月

業務内容の改善すべき点を話し合う。

- ○早番・遅番の改善(約5分の時間改善をした)
 - ・朝、全室の窓開け・電気をつける。 → 使用しない 2 階の窓開けをやめた。
 - 朝すのこを拭く。 → 夕方の掃除で行い早番の掃除場所を減らす。
 - ・展示食をやめ、印刷で知らせる。→片付けの時間が減る。
 - 大きい麦茶入れキーパーを小さい冷水筒にした。→ 片付け時間が減る。
- ○若手職員に対して
 - ・子ども達とゆっくり関わっていけるように配慮する。
 - ・保育が楽しいと思えることを1番に考え接していく。
 - ・否定せず、気付きや考えたことを受け止め、次につなげていく。
 - ・気付きノートを提出してもらい、認めたり細かに状況確認をし、大事なところを伝える。 また次の課題を見つけ、資質向上できる方向で導いていく。
- ○パート職員との連携
 - ・お願いボードを作り、行事製作のお願いを掲示する。(可視化)
 - ・休憩職員の部屋に入ってもらう。 →月初めに表で知らせる。(可視化)
 - ・消毒の詰め替えを行う。
- ○パソコンの配備
 - ・各クラスに1台置く。
 - ・無線ランの改善(すべての部屋に快適に繋がるように業者に依頼)
 - ・ハードディスクから、BOXに送るようにする。→ 送信が簡単になる。
 - ・指導案等、書き込みしやすい表に作成する。 → 個別は1枚の用紙に収めた。
 - ・オンライン研修が同時にあると、パソコン使用頻度が増え固まってしまう。

具体的な取り組み 1月

○若手職員との連携

- ・具体的に注意点やコツを提供する。
- ・できるか確認をし、成功体験を大事にしていく。
- ・マスクなので、相手の反応が分かるように、声が相手に届くようにはっきりと伝える。
- 〇パ-ト職員との連携 (改善状況)
 - ・お願いしている作業・製作物などどこまでできているかわからなくなる。→1か所にお願いするものを置くようにする。また同じ場所に戻すようにする。(場所の統一化)
 - ・行事準備を職員でしていた。→職員1人のみ参加で、パート職員が出るようにする。

(職員の時間確保)

- ・職員が望むようにできないので頼めない。→1つの事を一緒に行い、やり方をはっきり伝える。
- I C T 導入に関して
 - ·登降園システム導入 → 正確な時間が出るので、処理事務が時短となる。
 - ・無線ランの改善 離れた場所かあ印刷が出来るようになる。 パソコンが途中で切れる状態が確認される。
 - ・ノンコンタクトデーの取入れ → 事務処理に時間を使うことができるようになる。
 - ・職員出勤・退勤システム → タイムカードをなくす。
 - ・登降園システム導入 → (事務処理の時短)

具体的な取り組み 2月

- 〇保育全般の聞き取り調査 (職員会を含む)
 - (常勤職員)

(パート職員)

- ・(若手職員)「今保育が楽しいです」と答える。 ・良い環境で働けてストレスがたまらない。
- やりたい保育ができている。
- ・周りの職員が気遣ってくれて仕事がしやすい。
- うれしかった。
- I C T 導入での利便性の確認 (職員会にて) (良い点)
 - ・入力で困りは感じない。
 - ・行事予定がそのまま入力されているので楽。
 - ・テンプレートがあるのでやりやすい。
 - ・不具合が生じるがやっと慣れた。

(悪い点)

・パソコン立ち上げに時間がかかる。

・子どもと関われて、成長が見れたことが

- ・以前より子ども達にゆっくり関われない。
- ・ゆとりが持てない。

(改善事項)

- ・気持ちにゆとりが持てない状況が見られるので、月案・週案に関して元のテンプレートに戻す。 → すぐに画面記入ができるようになる。(時間の削減)(心の安定)
- ○細かい部分では時間の削減が可能になっている。今後も時間削減できるように、継続して 課題に取り組んでいきたい。

全職員が仕事が好き、楽しい、離職に繋がらないように配慮することが一番であると感じた。